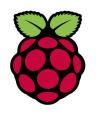
WLOラズパイ倶楽部 ヘッドレスで活用Raspberry Pi



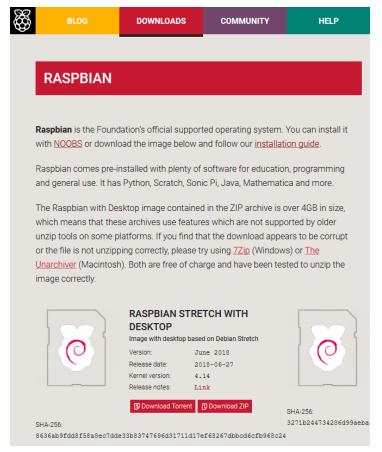


2018年7月12日



速報:Raspbian 2018-06-27 リリースされています

https://www.raspberrypi.org/downloads/raspbian/



・古いリリースからの更新方法

sudo apt update
sudo apt dist-upgrade
sudo apt install qpdfview
sudo apt purge xpdf
sudo apt install rp-prefapps
sudo apt install piwiz

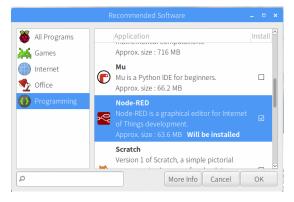
変更点:

・GUI初回起動時にインストールウィザード



国・言語設定 WiFiの設定 パスワード設定 初回更新 がGUIでできます。 (初回起動以降は sudo piwiz で再度実行可能です)

Recommended Software



イメージサイズ節約の ため、いくつかの ソフトウェアパッケージが 標準インストールから 外れて、「推奨ソフトウェア」 という扱いになり 別インストールとなりました。 (Node-REDも ...悲しい)

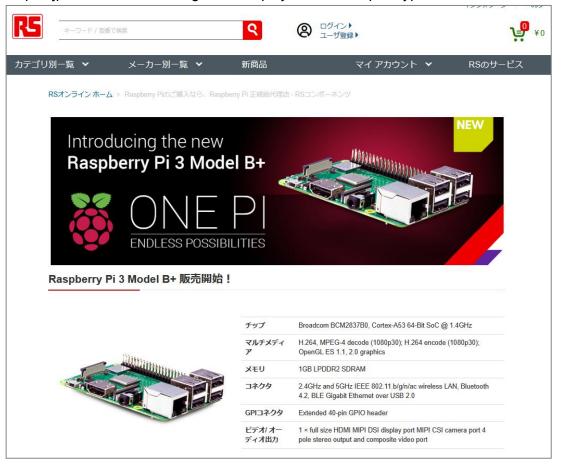
•PDF Viewerの変更

Xpdf →qpdfView



Raspberry Pi 3B+ 国内発売開始してます

https://jp.rs-online.com/web/generalDisplay.html?id=raspberrypi



RSコンポーネント スイッチサイエンス 共立電子産業 マルツ 等で販売開始になっています。 (店頭にもあります)



CPU: ARMv8 QuadCore 1.4GHz WiFi 802.11b/g/n/ac (2.4GHz/5GHz) Gigabit Ethernet (USB2.0速度制限) PoE対応(別売HAT必要)

※Raspbianは2018-03-13版以降で対応しています。(最新版をおすすめします)



今回のゴール

- ヘッドレスの概要を理解する
- •自分のRaspberry Pi をヘッドレスで動作するように設定する
- •VNCをつかって、他のPCから自分のRaspberry Pi にアクセスしてみる



ヘッドレス (headless) とは

•Raspberry Piを「ディスプレイ」「キーボード・マウス」を接続しないで使うこと

ユースケース例:

外出先等でPCやスマートフォンしかない状態でRaspberry Piを使う 自宅サーバとして使う IoT機器として使う





・メリットとデメリット

- ○消費電力が小さい
- ○持ち運びが楽
- ○遠隔操作が可能
- ●初期設定が必要
- ●操作に遅延がある(ことがある)



ヘッドレスで使うための方法いろいろ

簡単

・シリアル(UART)変換モジュール

PCとシリアルケーブルで接続する

•USB-OTG接続

PCとUSBで接続する(A/A+/Zero/ZeroWのみ)

·有線LAN接続

PCと有線LANで接続する

おすすめ

・WiFi接続(Raspberry Piがクライアント)

無線LANアクセスポイントにRaspberry Piを接続し、同じ無線LANに接続したPC、スマホからアクセス







・WiFi接続(Raspberry Piがアクセスポイント)

Raspberry Piにアクセスポイントソフトウェアをインストールし、PC、スマホからアクセス



・インターネット接続

Raspberry Piをインターネットに接続して、 インターネット/VPN経由でPC、スマホから接続する





ヘッドレスで使うための方法比較

方法	準備物	ソフトウェア	複数接続	GUI	ヘッドレスでの 導入可否	その他
シリアルケーブル	USB-ttyモジュール (1000円くらい)	端末ソフトウェア	×	×	0	
USB-OTG	USB-OTGケーブル (100均でも)	USB Gadget ssh VNC	×	0	0	A/A+/ Zero/ ZeroW のみ可能
有線LAN	LANケーブル (LAN HUB)	ssh VNC	× (HUB経由な らO)	0	0	
おすすめ WiFi Client	無線LAN アクセスポイント (3/W以外は 無線LAN ドングル必要)	ssh VNC	0	0	0	
WiFi AccessPoint	なし (3/W以外は 無線LAN ドングル必要)	ssh VNC	0	0	×	
インターネット	インターネット接続手段 (LTE/WAN)	VPN ssh VPN	0	0	×	



事前準備: Raspberry Piのパスワード、ホスト名設定

・GUI:メニュー→設定→Raspberry Piの設定→システムタブ

	Ras	spberry Pi の設定		_ □ X
システム	インターフェイス	パフォーマンス	ローカライゼーション	
パスワード:			パスワードを変	更(<u>P)</u>
ホスト名:		utaanipi2]	
ブート:		⊙ デスクトップ	O CLI	
自動ログイン:			✔ 現在のユーザとして口	コグインする
ネットワークプート:			□ ネットワークを待つ	
スプラッシュ画面:		● 有効	○ 無効	
解像度:			解像度を設定(<u>(R)</u>
オーバースキャン:		● 有効	○ 無効	
Pixel Doubling:		○ 有効	● 無効	
			キャンセル(<u>C</u>)	OK(<u>O</u>)
/\	(●) テスクトップ 《スワードの変更	_ = ×		
新しいパスワードの	入力:			
新しいパスワードを				
	キャンセル(<u>C</u>) OK(<u>O)</u>		
		_		
バス	(ワー…ました _ 🗆 ×			
パスワードの	変更に成功しました。	D		
	OK(<u>O</u>)			



事前準備:自分のRaspberry PiのMACアドレス確認

•ヘッドレスでの一番の問題:どうやってRaspberry PiのIPアドレスを知るか

Raspberry Pi標準ではDHCPでIPを取得する
→毎回IPアドレスが変わる!

自分のRaspberry Piがどれかわからない!













•基本知識

ホスト名を変更しておくと、IPアドレスがわからなくても、userhostname.localで接続できる(mDNS)

Raspberry Pi のMACアドレス(有線/無線とも) は b8:27:ebで始まる 有線LANのMACアドレスは、ifconfig eth0 で調べる(Raspberry Piのシリアル番号の下6桁) 無線LANのMACアドレスは、ifconfig wlan0 で調べる

pi@utaanipi2:~\$ ifconfig eth0
eth0: flags=4163<UP,BROADCAST,RUNNING,MULTICAST> mtu 1500
 inet 169.254.250.101 netmask 255.255.0.0 broadcast 169.254.255.255
 inet6 fe80::edb2:b78b:934d:a42b prefixlen 64 scopeid 0x20<link>
 ether b8:27:eb:2f:49:ae txqueuelen 1000 (イーサネット)
 RX packets 744 bytes 56954 (55.6 KiB)
 RX errors 0 dropped 0 overruns 0 frame 0
 TX packets 768 bytes 433022 (422.8 KiB)
 TX errors 0 dropped 0 overruns 0 carrier 0 collisions 0

pi@utaanipi2:~\$ ifconfig wlan0
wlan0: flags=4163<UP,BROADCAST,RUNNING,MULTICAST> mtu 1500
 inet 192.168.184.38 netmask 255.255.255.0 broadcast 192.168.184.255
 inet6 fe80::c726:7fd7:d902:c6e5 prefixlen 64 scopeid 0x20<link>
 ether b8:27:eb:7a:1c:fb txqueuelen 1000 (イーサネット)
 RX packets 207 bytes 39620 (38.6 KiB)
 RX errors 0 dropped 0 overruns 0 frame 0
 TX packets 44 bytes 6436 (6.2 KiB)
 TX errors 0 dropped 0 overruns 0 carrier 0 collisions 0

説明の前に: Raspberry Piの起動時設定について

・RaspbianのmicroSDカードの構成

標準では、2つのファイルシステムのパーティションから構成される

- ・FAT16: 古いWindowsで使われていて、多くのOSで読み書き可能なファイルフォーマット(60MB弱)
- ext4: Linux専用のファイルフォーマット(初期は3.9GB、初回起動時にmicroSDの残り容量まで拡張)

•Raspberry Piの起動時シーケンス

- 1:統合チップのGPU部分がブートローダ(初回起動プログラム)を読み込む
- 2: GPUがmicroSDのFAT16部分をマウント
- 3: GPUがFAT16のbootcode.binをRAMに読み込んで実行
- 4: bootcode.binがloader.bin、start.elfを順に読み込んで実行
- 5: start.elfがconfig.txt cmdline.txt kernel.imgをメモリに読み込む
- 6: start.elfがCPUを起動して、kernel.imgを実行させる
- 7: kernelが /init systemdなど読み込んで、Linuxとして起動する
- →Linuxの初期設定は、config.txt cmdline.txt で定義されるので、 起動時のデバイス設定はこの2つのファイルを書き換えることが多い



説明の前に: Raspberry Piの起動時設定について

- •config.txt / cmdline.txtの書き換え方法
 - Raspberry Piを使う場合:
 /boot にFAT16がマウントされるので、テキストエディタで
 /boot/config.txt /boot/cmdline.txt を書き換えて再起動する
 - ・PCを使う場合
 microSDカードリーダに接続することでFAT16の部分がマウントされるので、
 テキストエディタでconfig.txt を書き換え、Raspberry Piに戻して起動する



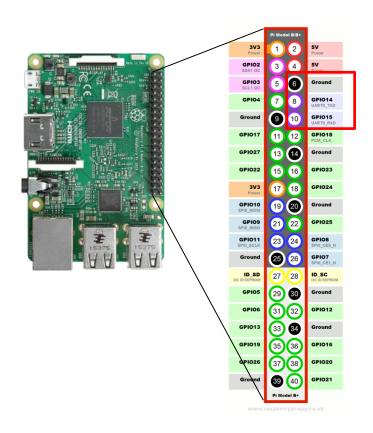
シリアル(UART)-USB変換アダプタによる接続

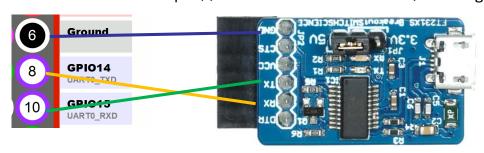
•UART(Universal Asynchronous Receiver/Transmitter)接続

TTL(3.3v)のUARTで接続することで、ネットワークを使わずにシリアルコンソール画面を参照できる。

USBシリアル変換アダプターの例:

https://www.switch-science.com/catalog/2782/





変換アダプタとRaspberry PiのTx(送信)とRx(受信)は 入れ替えて接続する。(Tx-Rx Rx-Tx)

Raspberry Piのデフォルト通信設定は

通信速度: 1152000bps

データ長: 8bit

ストップビット: 1bit

パリティ: None

※RaspberryPi3/3B+では、周辺機器調停の関係でconfig.txtの設定が必要 enable uart=1



USB-OTGによる接続 (Raspberry Pi A/Zero/ZeroWのみ)

•USB On-The-Go規格(ホストとしてもデバイスとしても利用できる)

Raspberry Pi Zero/ZeroWはUSBバスがチップ直結のため、 ドライバを適用することで、USBホストだけでなく USBデバイスとしても動作できる

USB Classの例:

CDC(シリアル)

RNDIS (イーサネット)

HID (キーボード・マウス)

Mass Storage (ディスク)

UVC(カメラ)



USB-OTGを利用すれば、USBをPCに接続するだけでシリアル・Ethernetによる通信が可能

※Raspberry Pi B/2B/3B/3B+はUSB HUB内蔵のため、OTGには非対応

·設定方法

Windowsの場合、RNDISドライバのインストールが必要。

http://www.catalog.update.microsoft.com/Search.aspx?q=Ethernet%2FRNDIS%20Gadget

Acer Incorporated. - Other hardware - USB Ethernet/RNDIS Gadget

Windows 7, Windows 8, Windows 8.1 and later drivers

Drivers (Other Hardware)

2010/01/13

1.0.0.0 21 KB

ダウンロード

Raspberry Pi側の設定: config.txtとcmdline.txtに以下の設定

config.txt: dtoverlay=dwc2 を追加

cmdline.txt: modules-load=dwc2,g_etherを rootwaitとquietの間に追記。

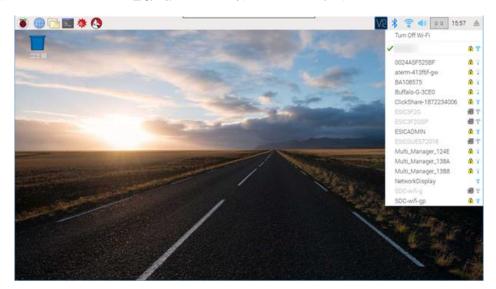


無線LANによる接続(Raspberry Piがクライアント)



・無線LANの設定

事前にディスプレイを接続できる場合: GUIで設定しておく



ヘッドレスで設定する場合:

microSDのFAT16のルートフォルダに

「wpa_supplicant.conf」というファイル名のテキストファイルを準備する

```
country=JP
ctrl_interface=DIR=/var/run/wpa_supplicant GROUP=netdev
update_config=1
network={
    ssid="RaspiClub180712"
    psk="password"
}
```

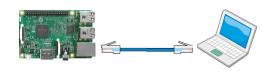
→初回起動時に/etc/wpa_supplicant/wpa_supplicant.confにコピーされ、WiFi設定が有効になります



有線LANによる接続

・LANケーブルによる直接接続

有線LANのHUBを使わず、Raspberry PiのEthernet端子とPCをLANケーブルで直接接続する



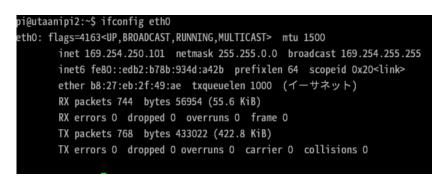
※ケーブルの自動識別機能がない古いPCの場合、 直接接続できない場合がある →その場合は有線LANのHUBを経由する必要がある

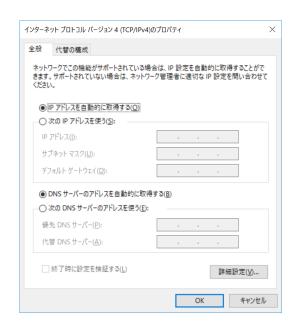
PC側の設定は、「IPアドレスを自動的に取得する」にしておく

Auto IP

まったく設定していない有線LANでは、 デフォルトでAuto IPが設定される

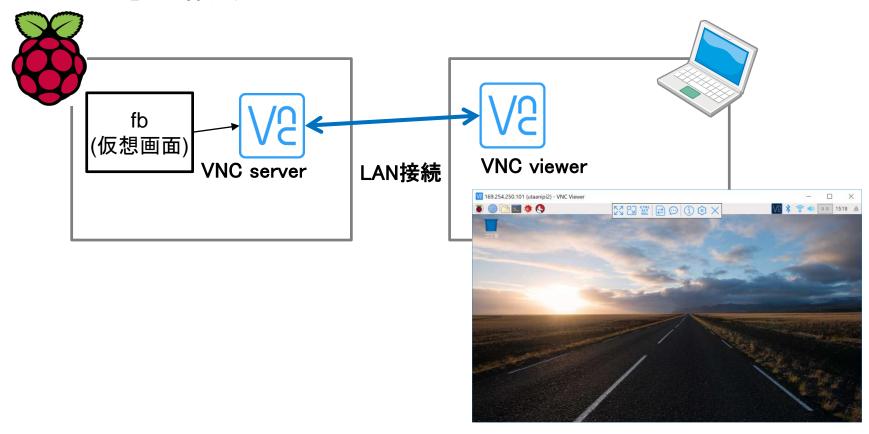
Auto IPは169.254.xx.yyの形式: 同じPCと接続する場合はほとんど変更されない







・コンピュータを遠隔操作するリモートデスクトッププロトコル





VNCの準備

Raspberry Pi側(VNC server)

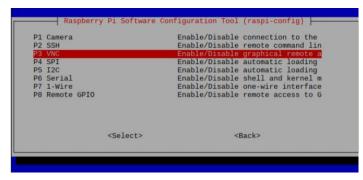
標準でインストールされているが有効になっていないので設定

・GUI:メニュー→設定→Raspberry Piの設定→インターフェイスタブ



・コンソール: sudo raspi-config

5 Interfacing Options → P3 VNC







コマンドでの設定

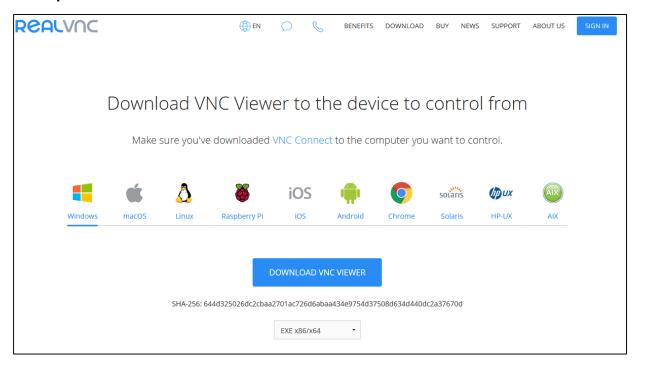
\$ sudo systemctl enable vncserver-x11-serviced.service

\$ sudo systemctl start vncserver-x11-serviced.service



*Viewer側(PC/別のRaspberry Pi)

https://www.realvnc.com/en/connect/download/viewer/

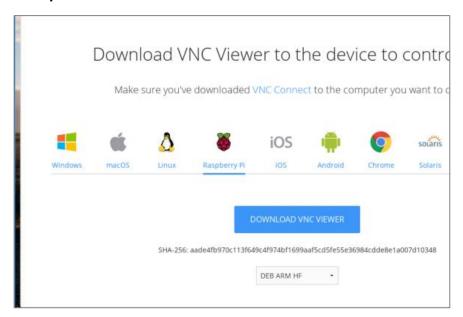


※ライセンス: Viewer利用についてはFree(商用・非商用含めて) (Viewer Plus/Serverについては、商用は有償)



Raspberry PiへのViewerのインストール

https://www.realvnc.com/en/connect/download/viewer/



https://www.realvnc.com/download/file/viewer.files/VNC-Viewer-6.18.0	525-Linux-	ARM.deb
▲ この種類のファイルはコンピュータに損害を与える可能性が あります。VNC-Viewerdeb のダウンロードを続けますか?	保存	破棄



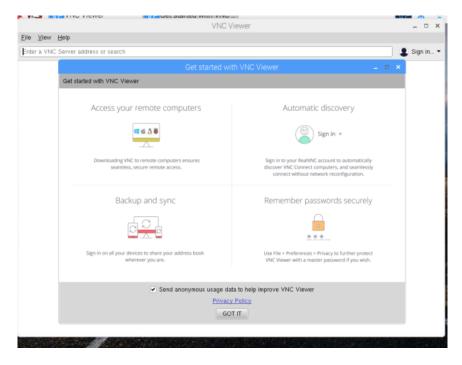






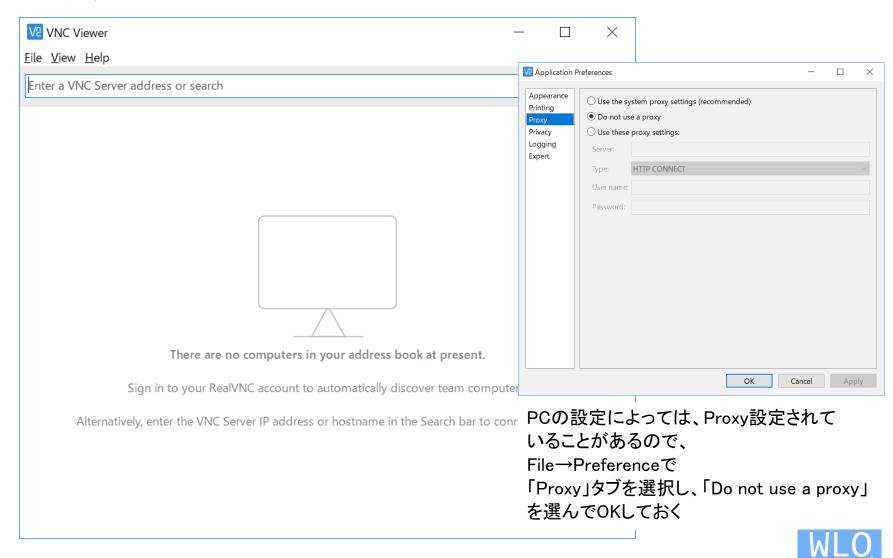




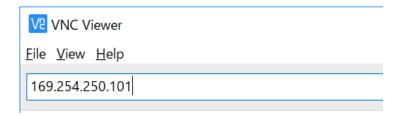


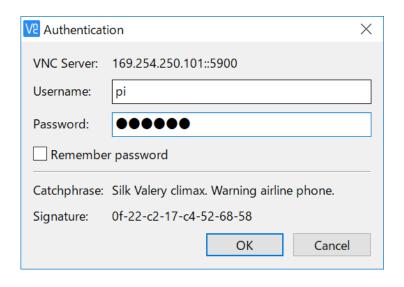


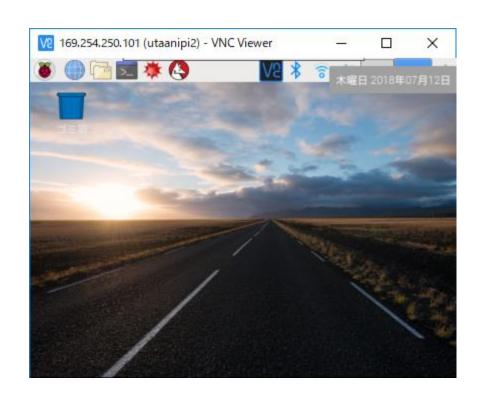
·Viewer起動



·Viewer起動



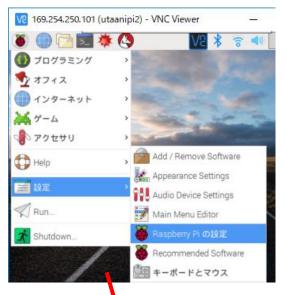




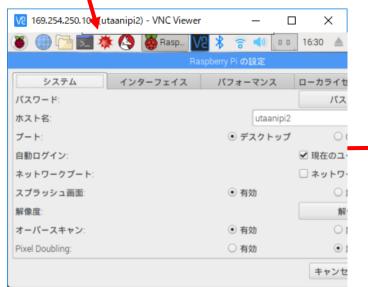
ヘッドレスで起動した場合、画面がめちゃ小さくなる (640x480px)

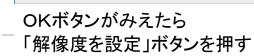


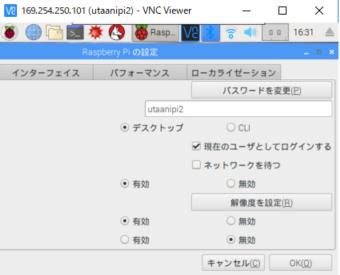
VNCの画面サイズの変更



GUIメニュー 設定→Raspberry Piの設定





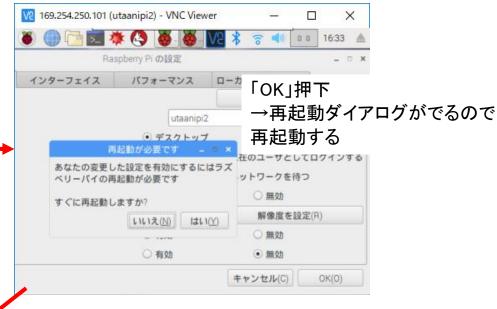


WLO Raspi Club

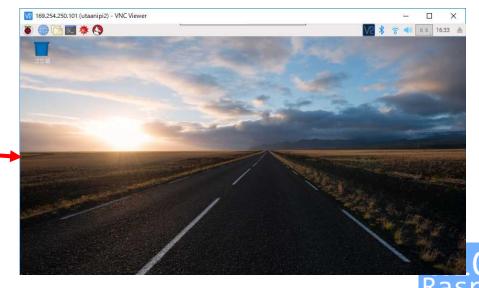
画面狭すぎて設定できない! →タイトルバーをつかんで左に動かす

VNCの画面サイズの変更









http://git.io/wlopi

ヘッドレス時、VNCの画面サイズの変更

▼config.txtを修正

uncomment to force a console size. By default it will be display's size minus
overscan.

```
framebuffer_width=1280
framebuffer_height=720
```

この2行のコメントを外す(先頭の#文字を消す)

※ディスプレイを接続してもこの解像度になるので、 ディスプレイを接続する場合は再度コメントアウトする(先頭に#をつける)



リモートログインのためのsshの有効化

•2016-11-25のRaspbianから、デフォルトでssh(リモートログインシェル)が無効化 sshがないと、ネットワーク経由でRaspberry Piにアクセスできない

	Ra	spberry Pi の設定		_ = x
システム	インターフェイス	パフォーマンス	ローカライゼーション	
カメラ:		〇 有効	● 無効	
SSH:		● 有効	〇 無効	
VNC:		● 有効	〇 無効	
SPI:		〇 有効	● 無効	
12C:		〇 有効	● 無効	
Serial Port		● 有効	〇 無効	
Serial Console:		● 有効	〇 無効	
1-Wire:		〇 有効	● 無効	
リモートGPIO:		〇 有効	● 無効	
			キャンセル(C)	OK(0)

•ヘッドレス時

FAT16のルートフォルダに ssh もしくは ssh.txt というファイルを作る

